

えいちゃんくらぶ オープンデー・イベント

『百姓の百の声』 無料上映

11/26
日曜

上映後に対談あり！ 大兼久由美（『百姓の百の声』プロデューサー）× 角尾宜信（えいちゃんくらぶ講師）

九十三歳から二十一歳まで
全国の百姓たちの知恵・工夫・人生を
美しい映像と丁寧なインタビューで
紡ぎだす

ドキュメンタリー映画

百姓の百の声

日 付: 2023年 11月 26日(日)

時 間: 開場 13:00 / 上映 13:30~
対談 16:00~17:00

会 場: 小金井市公民館 貫井北分館
(学習室 A+B)
小金井市貫井北町 1-11-12

参加費: 無料 定員: 50名 (多数抽選)

受付開始: 10月 15日 (締切: 11月 17日)

申 込: 専用応募フォーム、又は Eメール、電話、FAX

Eメール / FAXの場合は、氏名(ふりがな)・連絡先(電話番号及びメールアドレス)・
「えいちゃん上映会参加希望」と明記し NPO法人アートフル・アクションへ。

申込 / 問合せ先: NPO法人アートフル・アクション
TEL&FAX: 042-316-7236

(留守番電話に電話番号、お名前を入れて下さい。折り返しご連絡します)

Eメール: artfullaction@gmail.com

主催: 小金井市 / NPO法人アートフル・アクション
(令和 5年度 小金井市芸術文化振興計画推進事業)

専用応募フォーム



制作・著作・配給: プロダクション・エイシア
制作協力: 一般社団法人 農山漁村文化協会
2022年 | 日本 | 130分 | カラー | DCP

柴田昌平 監督作品

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金
(映画創造活動支援事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

「えいちゃんくらぶ」とは

“映像×メモリー×ちゃんぽん”をキーワードに活動している高齢世代のための映像サークルです。
幅広い年齢の“サポートメンバー”参加で世代間ミックスもテーマに。老若男女問わずメンバー募集中！
詳しくは左記 NPO 法人 アートフル・アクションまで。

食べている限り、誰の隣にも「農」はある
なのにどうして
これほど「農」の世界は
私たちから遠いのか

「百姓」とは、
何でも自分でできる人
という意味で
農家にとっては
誇りに思う言葉です

和食を撮って世界を魅了した『千年の一滴 だし しょうゆ』の
柴田昌平監督が、食の原点である農と向き合った。
全国の百姓たちの知恵・工夫・人生を
美しい映像と丁寧なインタビューで紡ぎ出す。
田んぼで農家の人たちが何と格闘しているのか
ビニールハウスの中で何を考えているのか。
多くの人が漠然と「風景」としか見ていない営みの
そのコアな姿が、鮮やかに浮かび上がる。



「耕す人々」の世界の入り口が、ここにある

復元力
立ち上がる
転んでは
そして前を
向く

今後、経済が下向き
食糧輸入に頼れなくなると予想される日本で
いま必要とされる力は、レジリエンシー：復元力。
百姓たちには本来これが備わっている。
映画に登場する百姓たちは
小手先では解決しないさまざまな矛盾を
独自の工夫で克服していく。



柴田監督の開かれた知と情熱は、個々のお百姓さんに蓄えられてきた
膨大な叡智にアクセスすることを試みた。
「批判」「対立構造」「問題解決」という安易な提示に慣れきっている私たちに
この世界は、もっともっと複雑で奥深く
それを理解し創意工夫するお百姓さんの喜びや面白さを伝える。
日本の農業の厳しい現状を想像しつつも
ひとりひとりの姿を見ていたら力が湧いてきた。 額綱あや(映画監督)

百姓の
声の
www.100sho.info

制作・配給 プロダクション・エイシア
Tel 042-497-6975
Mail info@asia-documentary.com



監督：柴田昌平 プロデューサー：大兼久由美 出演：日本全国の農家 語り：3人の農家の女性と監督
監修：百合田敬依子 撮影：柴田昌平・大兼久由美 音楽：Dan Parry・甘茶 編集：高橋慶太 音声：柳田敬太
題字：財前謙 メインビジュアル：阿部結 カラーグレーディング：堀井威久磨 制作デスク：宮川尚子
制作協力：農文協(一般社団法人 農山漁村文化協会) 制作・著作：プロダクション・エイシア

えいちゃんくらぶオープンデー『百姓の百の声』上映会

“映像×メモリー×ちゃんぽん”をキーワードに活動している、高齢世代のためのはじめての映像制作の会、
「えいちゃんくらぶ」メンバーによるオープンデーイベントを開催します。
上映後に大兼久由美さん(『百姓の百の声』プロデューサー)と角尾宜信さん(えいちゃんくらぶ講師)との対談有り。